

平成 30 年度（2018 年度）宝塚市人権教育推進委員会（概要）

会議名	平成 30 年度（2018 年度）第 1 回 宝塚市人権教育推進委員会
日時	平成 30 年（2018 年）7 月 18 日（水）10：00～12：00
場所	宝塚市役所 2 階 2-5 会議室
出席者	<input checked="" type="checkbox"/> 木村委員 <input type="checkbox"/> 三ヶ尻委員 <input checked="" type="checkbox"/> 平山委員 <input checked="" type="checkbox"/> 西村委員 <input checked="" type="checkbox"/> 平田委員 <input checked="" type="checkbox"/> 谷添委員 <input checked="" type="checkbox"/> 麻田委員 <input checked="" type="checkbox"/> 林委員 <input checked="" type="checkbox"/> 大西委員 <input checked="" type="checkbox"/> 和久委員 <input checked="" type="checkbox"/> 加藤委員 <input type="checkbox"/> 薄田委員 <input checked="" type="checkbox"/> 横川委員 <input checked="" type="checkbox"/> 山下委員 <input checked="" type="checkbox"/> 藤井委員 （ <input checked="" type="checkbox"/> 出席/ <input type="checkbox"/> 欠席）
傍聴者	0 名

- 森教育長より委嘱状の交付
- 森教育長よりあいさつ
- 委員・事務局の自己紹介
- 配布資料の確認
- 諮問内容について
- 今年度の活動について（平野副課長） 2 年間の活動の方針
- 本年度 委員長 和久委員 委員長代理 谷添委員
- 会長あいさつ
- 各委員自己紹介（以下の 2 点を入れる）
 - ① 自身の活動の様子。人権同和教育に関して、自分自身の自慢アピール
 - ② 今年度の視察場所、学びの場の候補地
- 質疑応答

（質問①）パンフレットは毎年出すのか。諮問はどういうものか

（回答）パンフレットは毎年改定している。この会で話し合っ作っている。推進委員会の中で、こういうものをつくろう、教職員の方に学習してもらいたい、プラス市民の方にも知っていただきたいという意見が出た。全教職員に配ってもらいある程度の反響はあったのではないかと思う。

もう一つの質問、諮問を受けているわけだが、例えば意見書や提言書を出してきた。同和教育審議会を何十年も行ってきた。宝塚の答申として本にまでなっている。大きな成果を上げてきた。先人たちが作ってこられた。たとえば人権教育ブロック別実践研究（以降、ブロック研）の提言とか、指導員の組織化とか、校区人権推進委員会を策定していくとか、白書を含めていろいろなことで先人たちが提言してこられた。そういうことをしてきた歴史ある委員会です。

あと一つ、2016 年のブロック研の名称が入っている。今回の目的が明確に書かれているところはないわけだが、宝塚市の人権教育を推進する、大まかに言えばそういうことで、答申を出したり冊子を出したりして推進してきた。

（質問②）ブロック研の視察は、2 年で 1 回というのはどうしてか。

(回答) ブロック研は保幼小中の連携の重要な柱であり、ブロック研は同和教育の要でもある。この委員会では重要視してきた。毎年、どこかのブロック研を見に行く。皆さんから申し出があれば、事務局がその学校に連絡してもらっている。以前の2年間は、答申や意見書など、グループの協議を優先してきた。今回は、複数回行けるのではないかと考える

○ 今後の活動について

年間9回の中で考えていく。

見学場所については次回深めていく。

人権教育ブロック別実践研究会については、参加したいところは事務局に連絡する。

全体で行くところは、協議していく。

道徳については、宝同協で教科書を購入している。お互い学んでいく。

次回については、8月末を予定。